

所得税の確定申告書は自分で書いてお早めに！

～確定申告をしなくてよい場合でも、次のような方は、還付のための確定申告書を提出することができます～

- ◆給与所得や退職所得のある方で、雑損控除・医療費控除・寄附金控除・住宅借入金等特別控除などを受けることができる方
- ◆給与所得者で年の途中で退職し、その後就職しなかったため年末調整を受けなかった方
- ◆予定納税をしたが、確定申告の必要がなくなった方

還付申請ができる方は、1月から確定申告書を税務署に提出できます。確定申告の期間(2月18日(月)～3月17日(月))は申告会場が大変混雑しますので、ご自分で記入して、お早めに郵送などにより提出をお願いします。

なお、確定申告期限は、**3月17日(月)**になります。

『混雑する申告時期前に還付申告相談を！』

関東信越税理士会諏訪支部では、給与所得者や年金を受給されている方を対象に無料税務相談を行っています。お早めに手続きされることをお勧めします。

| 相談会場 | 相談日程(土・日曜日・祝日は除く) | 受付時間 |
|--|-----------------------------|------------------------------|
| イルプラザアミューズメント 2階 岡谷市民ミーティングルーム (イルプラザ向い立体駐車場棟) | 2月4日(月)～14日(木) (2月6日を除く) | 午前10時～午後3時 (正午から午後1時は昼休み) |

国税庁のホームページで申告書の作成ができます <http://www.nta.go.jp>

確定申告書の提出先：〒392-8610 諏訪市清水二丁目5番22号 諏訪税務署
問合せ：諏訪税務署 個人課税第1部門 ☎57-5211

！ 税務職員を装った「振り込め詐欺」「訪問徴収」にご注意ください！

- ★税務職員を装って、税金の還付金などがあると偽り現金自動預け払い機(ATM)から金銭を振り込ませようとする「振り込め詐欺」が発生しています。
- ★訪問時に税金を徴収しようとする、または勤務先・預金の口座番号等を聞き出そうとする。(ポストから催告状などを抜き取り、それを持参して訪問徴収しようとする手口がみられます)

岡谷市では…

- 還付金受け取りのために、現金自動預け払い機(ATM)の操作を求めることはありません。
- 納税のために、納税通知書記載の岡谷市会計管理者名義の口座以外を指定して振込みをお願いすることはありません。
- 訪問徴収時はネームバッジを着用しています。
- 常に身分証(徴税吏員証または徴税職員証)を携行し、提示を求められた場合は、相手の方に提示しています。



被害に遭わないために

- ATMなどの操作を求める不審電話があったら、相手の求めには絶対に応じず、一旦電話を切りましょう。その後、市役所税務課(内線1125)までご連絡ください。併せて、岡谷警察署(☎23-0110)にもご相談ください。
- 税務職員を装った不審な訪問がありましたら、身分証(徴税吏員証または徴税職員証)の提示を求めらるか、市役所税務課(内線1125)へお問い合わせください。

あなたに 挑戦!

No.265

広報クイズ

今月号から、月1回の発行になり、みんなのページもリニューアル。クイズの締切りも変わりましたので、ご注意ください。今年もたくさんの応募をお待ちしています。

◎前回の答え(12/1)と当選者

問1-②15 問2-①水道開栓申請
問3-③まるく

正解総数21通(応募総数25通)の中から抽選で、H・Hさん(長地片間町2)、U・Kさん(山手町1)、S・Hさん(長地出早2)、N・Kさん(湊1)、G・Kさん(赤羽2)にロマネット入浴券をお送りします。

問1 今月号から掲載が始まった、くらしのカレンダー。+のマークはどんな意味でしょう?
①休日歯科医院
②水道修理工番店
③休日当番医院

問2 今年もこの季節がやってきました。提出期限は3月17日までです。
①年賀状 ②確定申告
③冬の講座

問3 1月13日に第〇回「岡谷寒うなぎまつり」を開催します!
①1 ②3 ③5

ヒント…記事を読むと…。

◆広報クイズ応募方法

はがきに、答えの番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、ひと言を書き、広報クイズ係《〒394-8510 岡谷市役所(住所不要)》までお送りください。抽選で5名の方にロマネット入浴券をお送りします。1月15日必着。(ひと言は「みんなの声」に掲載させていただく場合があります)

市民レポーター だより

宮坂槇三さんの
おかやよいとこ探し パート 48

受けつげし
我が街遺産
希望の灯

新春のお慶びを申し上げます。平成20年良い年を迎えられたことと思います。本年もよろしくお願ひします。
旧年11月経産省より初めて、『近代化産業遺産群』に岡谷市の製糸関連建造物など15件が認定され、喜びの一つとしている昨今。これの一つのステップとして、いま関連した運動を展開中。
これらの話を、市立岡谷蚕糸博物館学芸員 鮎沢諭志さんに伺いました。
岡谷市では昨年、『日本製糸業近代化遺産』日本の近代化をリードし、世界に羽ばたいた糸都岡谷の製糸資産』を世界遺産暫定リストに記載されるように申請中です(長野県・岡谷市共同提案)。明治維新以降、蚕糸業がわが国の殖産興業となつてから、明治8年に創業した中山社を中心とした諏訪式練糸機の開発がされた後も、練糸技術が飛躍的に伸び、19〜20世紀にかけて世界に岡谷の名前が轟きました。
今回は(1)旧林家住宅(2)旧片倉組

蚕糸博物館 学芸員 鮎沢諭志さん
あいざわ さとし
本部事務所(3) 旧山一林組事務所(4) 旧山上宮坂製糸事務所・練糸工場棟・再練工場棟・居宅(5) 蚕霊供養塔(照光寺)の5か所が申請されているとのことでした。
いま改めて思うに、先人の努力と熱意に感謝し、より一層、物の大切さを知り、日々努力していきたいと心に誓いました。
昨日より今日、今日より明日に向かってお互い健康管理に気をつけ本年も頑張りましょう。
雪しづく 静かにながれ 春をよぶ



▶蚕霊供養塔



▲旧山一林組事務所



市民レポーター
宮坂槇三さん
みやさか まささう



みんなの 声

このコーナーでは、みなさんのご意見（市政、広報、最近のできごとなど）を紹介します。ご意見をどしどしお寄せください。お待ちしております。

宛て先…〒394-8510 岡谷市役所（住所不要）
情報推進課広報広聴

（▼は広報広聴担当より）

12月のがみから

市 議会の傍聴に行つてきました。迫力ある質疑応答が目の前で見聞きできて、大勢の人たちに足を運んで欲しいと思いました。

（匿名希望）

▼自分の目で直接見て感じることは、何事にも得がたい事です。興味はあるけど時間が合わない、そんな方には、シルキーチャンネルで後日再放送も行っていきますので、ぜひ活用ください。

い よいよ冬本番。今年の冬はどうなんでしょうか？暖冬だといいですね。灯油も値上がりしましたね。

（川岸東・Mさん）

▼灯油の値上がりで、昔ながらの湯たんぼや、ペレットストーブなどに人気がでていそうです。灯油の値上がり、限りある資源の見直しになればいいですね。

今 年もまた寒い冬の季節を迎えます。雪が降ると片付けに頭を痛めます。どうなるべく少ない雪で終わりますようにと思うこの頃です。

（川岸上・Sさん）

▼ちらほらと雪が舞い始めましね。これからは、朝目が覚めるたびに、降雪量が気になる日々です。どうか、少量で頭を痛めることなく冬が越せるといいですね。

岡 谷に引越し、初めての冬で、雪がとつても心配です。

（赤羽・Gさん）

▼雪かきと、雪の置き場には頭を悩ませますが、雪だるまにかまくら、雪合戦と冬と雪の楽しみ方も忘れたくないですね。

5 人家族のわが家は、ゴミの分別をするようになり、可燃ごみは週1回から、10日に1回のごみ出しになりました。生ごみは、自宅で堆肥化しています。今年はこの土を使いガーデンニングを楽しみました。小さなことですが、楽しみながらやるのが長続きの秘訣でしょうか。

（長地出早・Sさん）

▼エコ生活が楽しみに結びつけば、続けることも苦ではないですね。

共に暮らす外国籍市民

みなさん、岡谷市に外国人が何人在住しているのかわかりますか？200人？500人？800人？と思ってしまうかもしれませんが、実は、1000人を超える20カ国以上の外国籍市民がいます。最近ではブラジル、インドネシア、フィリピンなどの方が増えています。

必ず隣に外国人が暮らしている今の時代では、外国籍市民はもはや「外国人」ではなく「外国籍を有する市民」として認識する必要があります。この地域で暮らし、もちろんこの地域に対して義務を果たすと同時に同じ市民としての権利を享受します。このことによって日本人市民とともに相互に助け合いながら、共により良い地域社会を目指していくことが重要です。

多文化共生社会に近づけていくには、外国籍市民に生活、教育、福祉等の様々な支援を取り組み、日本人市民と同様にこの地域での暮らしに対する思いを発言し、地域に参加する場を提供することが必要です。

これをするための事業としては、私は何人かの方と一緒に「多文化共生プロジェクト」を計画しています。このプロジェクトは、岡谷市に暮らす外国籍市民のみなさんに岡谷や日本の暮らしに対しての思いをインタビューし、その思いを顔写真入りのパネルにまとめ、メッセージ展としてアピールするものです。このメッセージ展を通して、外国籍市民の背景にある多種多様な文化を、地域の貴重な資源として多くの市民に認識してもらうと共に、多文化共生のまちづくりを目指します。

メッセージパネルは、2月下旬から3月上旬に展示し、最後の日には、メッセージ展に登場した人との懇親会を開くことを予定していますが、このプロジェクトを実現するには、大勢の市民の協力がもちろん必要ですので、現在インタビューの実施、パネルづくり、交流会の運営日本人市民、または外国籍市民のボランティアを募集しています。ご興味のある方は、国際交流協会

（☎24-3226 Email oiea@oiea.jp）にお問い合わせください。

詳細は、ホームページにも記載しています。(www.oiea.jp)

Kia ora!!



国際交流員の
セーラ・アキレス です

No.38